

5つのカテゴリーと3つの部門をお選びいただきご応募ください。

● 5つのカテゴリー

- 1 プロダクト
- 2 アプリケーション・サービス
- 3 建築・空間
- 4 コミュニケーション
- 5 調査・研究

● 3つの部門



審査委員（予定）

審査委員長

益田文和（インダストリアルデザイナー／オープンハウス 代表取締役）

副審査委員長

赤池 学（科学技術ジャーナリスト／ユニバーサルデザイン総合研究所 所長）

持丸正明（産業技術総合研究所／人間拡張研究センター研究センター長）

山中龍宏（小児科医／緑園こどもクリニック 院長）

審査委員

赤松佳珠子（建築家／CAIパートナー／法政大学 教授）

赤松幹之（産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター 特命上席研究員）

五十嵐久枝（インテリアデザイナー／武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 教授）

大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー／イデア 代表）

岡崎 章（拓殖大学 教授／理工学総合研究所 所長）

定行まり子（日本女子大学 教授）

竹村真一（文化人類学者／京都造形芸術大学 教授／Earth Literacy Program 代表）

中村俊介（芸術工学博士／株式会社しくみデザイン 代表取締役）

西田佳史（東京工業大学工学院機械系 教授）

橋田規子（プロダクトデザイナー／芝浦工業大学 教授）

深田昭三（愛媛大学 教授）

宮城俊作（ランドスケープアーキテクト／設計組織PLACEMEDIA・パートナー／東京大学大学院 教授）

森本千絵（コミュニケーションディレクター／アートディレクター）

山中敏正（筑波大学大学院 人間総合科学研究科 副研究科長 感性認知脳科学 専攻長／筑波大学 芸術系 教授）

※2020年1月現在。最新の情報はキッズデザイン賞Webサイトをご確認ください。

受賞後の展開

- 新聞や雑誌など、さまざまなメディアに取材されることで、注目度・認知度も高まります。



- 各地で開催されるイベントやワークショップ、セミナーを通じて、受賞作品を広く訴求します。



- 表彰状やトロフィーを展示して、受賞をアピールできます。



- キッズデザインマークを使用して、Webやパッケージなど幅広く受賞をPRできます。



- 受賞作品検索サイトにて、審査委員からの評価ポイントとともに作品を紹介します。

応募・審査スケジュール					
3月2日(月)～5月8日(金)	7月上旬	7月上旬～中旬	8月21日(金)	9月上旬	9月30日(水)
Webで応募受付 審査料：55,000円(税抜)	作品提出	審査	キッズデザイン賞 受賞作品発表 発表・PR	最優秀賞・優秀賞など ノミネート作品発表	記者発表・表彰式

※審査料やキッズデザインマーク使用料について、詳しくはWebサイトをご覧ください。

応募要項を2月中旬にWebサイトで公開
しますので詳細をご確認ください。

<https://kidsdesignaward.jp>



キッズデザイン賞事務局

Tel：03-5405-2142（平日10:00～17:00）

Mail：2020kids@kidsdesign.jp

上記メールは問い合わせ専用です。



第
14
回

キッズデザイン賞募集

募集期間 2020.3/2(月)～5/8(金)

詳細はキッズデザインWebサイトへ

<https://kidsdesignaward.jp>

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

後援(予定)：経済産業省、内閣府、消費者庁



KIDS
DESIGN
AWARD

あらゆるモノやコトが 子ども目線でデザインされている社会の実現は、 未来を担う子どもたちのために、 今私たちができること、と考えます。

今年も募集します！「第14回 キッズデザイン賞」

キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮した
すべての製品、サービス、空間、活動、研究を対象に募集しています。
2007年の創設以来、子ども・子育てに対する意識や取り巻く環境は大きく変化し、
受賞作品の内容も、年々多様化しています。その一例をご紹介します。
ぜひ、ご応募ください。そして、子ども目線でデザインされている社会と一緒に創っていきましょう。

エシカル消費

JUNIOR SAFE4号 未来のためにできること ～ぼくたち、わたしたちのSDGs

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

各国同世代の子どもの事例により、
世界課題を身近に感じさせる啓発冊子



多様なサービスによる子ども・子育て支援



子ども向け施設に おやつ献立を作成・ 商品を配送するサービス

株式会社ワイライツ

施設支援員の負担軽減と安全安心で
楽しい食育をサポート

子どもの事故防止

ガスビルトインコンロ「アバンセ」

株式会社パロマ／大阪ガス株式会社

エリアセンサーによる着衣着火事故防止などの安全対策



テレビスタンドの転倒防止機構

パナソニック株式会社

スタンド底面の吸盤がテレビ台に吸着することで
テレビの転倒を防ぐ安全対策



シェアリングエコノミー

「トイサブ！」知育玩具の定額制 サブスクリプション・レンタルサービス

株式会社トラーナ

専門家の提案のもとで月齢にあった
知育玩具を色々試せるサービス



コワーキングCoCoプレイスでの新しい働き方

株式会社キャリア・ママ

仕事と育児の両立の発展性を示唆する先進的なビジネスモデル

子どものスポーツと健康



防災スポーツ

株式会社シンク

災害時に想定されるシーンを
スポーツ競技化した
新しい防災訓練モデル

子育て支援・教育分野でのアプリ・ICT活用



不審者・治安情報サービス 「ガッコム安全ナビ」

株式会社ガッコム

信頼できる公的な情報を一元管理し、
誰にでもわかりやすく無料で確認できる



産婦人科オンライン

株式会社Kids Public

専門家による質の高い情報提供、
企業や自治体との提携で利用者の費用負担軽減



コープデリの子育て応援

コープデリ生活協同組合連合会

もち米の生産体験や野菜の販売体験など、
生産者と消費者をつなぐ立ち位置を活かした
多様な取組

21世紀型スキルの育成

フライングディスク運動型 STEAM 教育プログラム

Terada3DWorks

遊びや運動と3Dモデリング・
3Dプリンタによるものづくりを
融合させた学びのプログラム



多様なステークホルダーによる協働



アベマキ学校机プロジェクト

美濃加茂市／可茂森林組合／合同会社ツバキラボ／
株式会社丸七ヒダ川ウッド／美濃加茂市立山之上小学校

放置林の材木を活用した机の天板作りを通じて、
里山教育と産業・環境教育を両立した取組



おしごと体験広場 キッズハローワーク

おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

地元の資源、産業、人材を活かした
多岐にわたる社会体験 プログラム

ダイバーシティ



「心のバリアフリー」教材セット ～みんなで考えよう支え合う社会～

株式会社オータケ

様々な心身の特性を持つ人々との相互理解を深めるために
子どもが自ら考える工夫がされたツール

発達障害のある子どもの 公共トイレに関する研究

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団／
日本工業大学／横浜国立大学

データに基づいた行動特性と
配慮策をまとめた啓発冊子

ワークライフバランス



イクメン休業

積水ハウス株式会社

上司・同僚・家庭の意識定着も含めた
男性育児休業完全取得の先進例



子どもたちが描く みんなの公園 ワークショップ

公益財団法人 日本ユニセフ協会／国立大学法人 山形大学／株式会社竹中工務店

子どもが専門家や地域の人々と対話しながら、
アイデアを形にした復興街づくり

これまでの受賞作品 **2,968** 点を紹介しています

キッズデザイン賞 受賞作品検索

検索